

KIZUKURIでの運用解説

- プログラム画面での解説
 - ①平屋建て/商業施設/内部に壁配置無し
 - ②「壁無双」 /450mm/ 7 倍/外周部にのみ配置
 - ※「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」 /壁倍率7倍上限による
 - ③略伏図と一般事項の入力画面/令第46条 2 項設定

令第46条 2 項ルート/設計手法 (設計方針) → (令第46条2項) を選択

一般事項の入力

建設地等 | 建物概要 | クリート | 基本データ | 固定荷重 | 使用材料 | 許容応力度 | 設計方針 | 等級 | 金物 | ベントリ | 基本設定 | 特殊設定 |

設計方針

床は剛な床組として設計する

壁の剛性(剛性率) $P \times$ 150

変形増大係数(長期) 2

たわみ制限	長期		短期		中長期		積雪時	
	1/	(cm)	1/	(cm)	1/	(cm)	1/	(cm)
小屋梁	200	2	150	4	200	2	150	4
床梁	250	2	150	4	250	2	150	4
片持ち梁	300	2	150	4	300	2	150	4
クリープ	250							

☐ [令第46条1項] ☒ [令第46条2項]
☐ [令第46条2項] (ねじれ補正係数を1.0未満にしない)

☒ 最下階の少量のめり込みを許容する
☒ 短期のめり込みも検討する
☒ 上下で同一の位置にある柱の(柱脚金物/柱頭金物)が異なる場合は、大きい金物に合わせる
☒ 横架材接合部の引抜き力の計算(許容耐力)

斜め通り/耐力壁

☒ 主軸(X方向/Y方向)のみ考慮する ☐ 両方向考慮する

令第46条 2 項ルート/設計手法 (許容応力度) → (■2次設計を行う) を選択

一般事項の入力

建設地等 | 建物概要 | **グリッド** | 基本データ | 固定荷重 | 使用材料 | 許容応力度 | 設計方針 | 等級 | 金物 | ベントウ | 基本設定 | 特殊設定

材種・許容応力度

基礎

地業	布基礎
基礎版面積 (m ²)	0.0
1 階床重量 (kN)	0.0
基礎立上り部重量(kN)	56.16
布基礎の全長 (m)	52.0
基礎幅検討の安全率	1.0
転倒基礎根入れ (m)	0.0
転倒基礎重量 (kN)	0.0
X方向転倒架構始点(m)	0.0
X方向転倒架構幅 (m)	16.0
Y方向転倒架構始点(m)	0.0
Y方向転倒架構幅 (m)	10.0

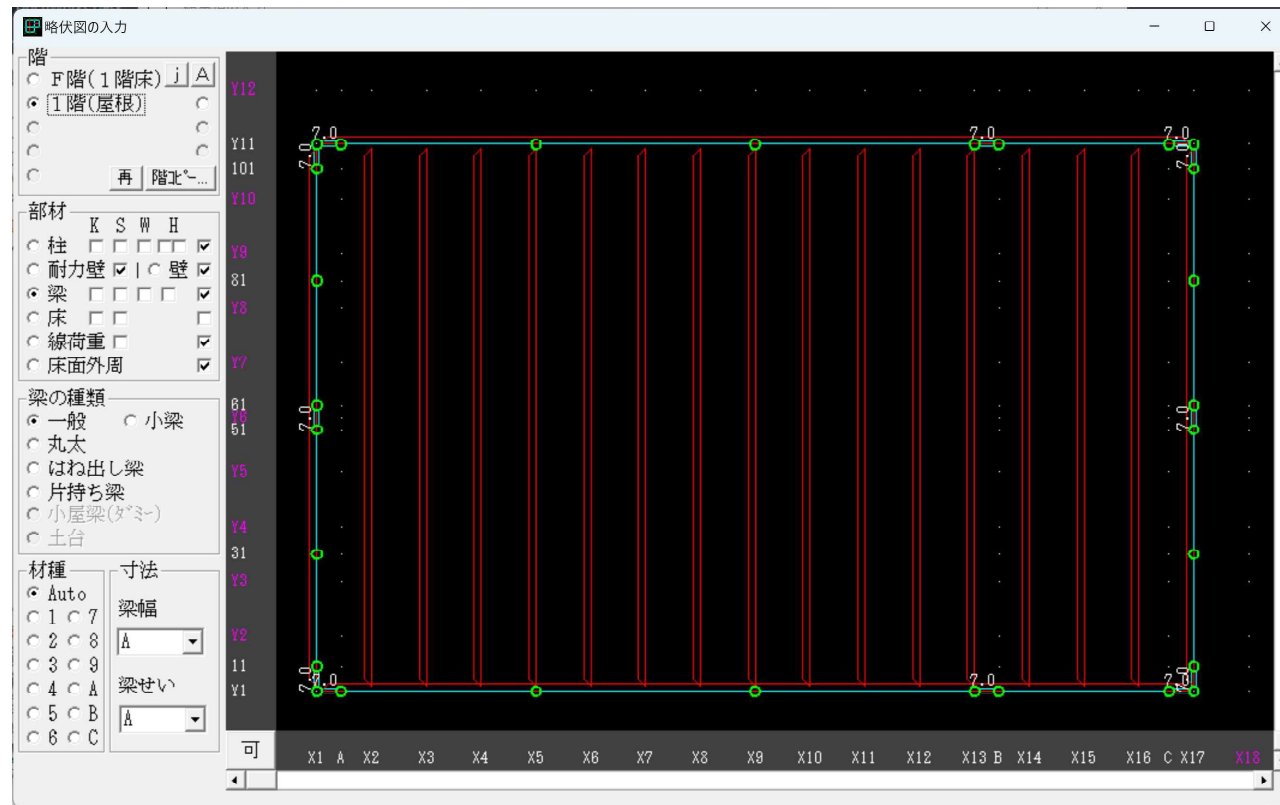
☐ 層間変形角 (令 1 0 9 条の 2 の 2) の計算を行う

☒ 2 次設計を行う (13m/9m超構造/構造一級建築士)

許容変形角 1/

偏心率判定値

KIZUKURIの略伏図入力/商業建築想定 /「壁無双」/450mm」/120mm厚/ 7 倍/外周部に配置



K I Z U K U R I の特徴①

最小の入力情報で計算可能/建物重量の内訳表示

計算結果						
移動： 2.4. 水平力（地震・風圧）に対する耐力壁の検定						
2.4. 水平力（地震・風圧）に対する耐力壁の検定 建物荷重の算定 () 内数値は、柱・梁用 積載荷重時						
階	項 目	単位荷重	面積または長さ	W0(kN)	Wi(kN)	ΣWi(kN)
1	屋根	650 (650)	160.00	104.00 (104.00)		
	外壁1階	500	52.00 × 1.50	39.00	143.00 (143.00)	143.00 (143.00)
F	外壁1階	500	52.00 × 1.50	39.00	39.00 (39.00)	182.00 (182.00)

K I Z U K U R I の特徴②

簡潔な表示/（検定比）で定量値の確認

計算結果

移動： 2.4. 水平力（地震・風圧）に対する耐力壁の検定

2.4.1. 地震力の算定

地震地域係数 Z

= 1.00

一次固有周期 T

= 0.102

α_i

= $\sum W_i / \sum W_1$

A_i

= $1 + (1/\sqrt{\alpha_i} - \alpha_i) \times (2T) / (1 + 3T)$

C_i

= $C_0 \times Z \times A_i$

(使用壁上限：7倍)

階	W_i (kN)	$\sum W_i$ (kN)	α_i	A_i	C_i	eQ_i (kN)	$\sum P_i$ (kN)		$eQ_i/\sum P_i$	
1	143.000	143.000	1.000	1.000	0.2000	28.600	X→	37.04	0.772	≤ 1.0 OK
							X←	37.04	0.772	≤ 1.0 OK
							Y↑	37.04	0.772	≤ 1.0 OK
							Y↓	37.04	0.772	≤ 1.0 OK

令第46条 2 項の特徴②

剛性率/令第82条の6/二のイ

計算結果

移動: 3.8. 二次設計

計算結果 検定比の大きい部材

3.8.3. 剛性率

γ_{si} : 層間変形角の逆数 h_i : 構造階高 δ_i : 変位
 Q_i : 当該階 (又は壁) に作用する水平力 (kN)
 P_i : 当該階の耐力壁の許容耐力 (kN)
 R_s : 剛性率

$\delta_i = (h_i / 150) \times (Q_i / P_i)$
 $\gamma_{si} = h_i / \delta_i$
 $R_s = \gamma_{si} / \text{平均} \gamma_s$

方向	階	h_i (m)	Q_i/P_i (地震時)	δ_i (cm)	γ_{si}	平均 γ_s	R_s	
X→	1	3.000	0.772	1.54	194.3	194.3	1.00	≥ 0.6 OK
X←	1	3.000	0.772	1.54	194.3	194.3	1.00	≥ 0.6 OK
Y↑	1	3.000	0.772	1.54	194.3	194.3	1.00	≥ 0.6 OK
Y↓	1	3.000	0.772	1.54	194.3	194.3	1.00	≥ 0.6 OK

令第46条 2項の特徴③
偏心率/令第82条の6/二のロ

計算結果

移動: 3.8. 二次設計

☒ 計算結果
 ☐ 検定比の大きい部材

3.8. 二次設計

3.8.1. 偏心率の計算

地震時

方向	階	Oy(m)	Gy(m)	ey(m)	Jx+Jy (kN・m ² /rad)	rex(m)	Rex	
X→	1	5.000	5.000	0.000	494537	9.434	0.000	≦ 0.15 OK
X←	1	5.000	5.000	0.000	494537	9.434	0.000	≦ 0.15 OK

方向	階	Ox(m)	Gx(m)	ex(m)	Jx+Jy (kN・m ² /rad)	rey(m)	Rey	
Y↑	1	8.000	8.000	0.000	494537	9.434	0.000	≦ 0.15 OK
Y↓	1	8.000	8.000	0.000	494537	9.434	0.000	≦ 0.15 OK

KIZUKURIの部材検定結果/柱材



KIZUKURIの部材検定結果/梁材

